

- 宮城県仙台市では、バス利用者・事業者収入の減少等による公共交通サービスの低下や都心での賑わい低下・停滞が問題としてあげられ、公共交通によるアクセス利便性の確保や都心の回遊性向上に取り組む必要がある。
- これらの課題を受け、都心や拠点にアクセスできる公共交通軸の設定と強化により利用者の利便性を向上させ利用促進を図るとともに、都心回遊性強化によるまちなかの賑わい向上を図るべく、利便増進実施計画を作成。

## 事業の内容

### ①八木山ラインにおける最大待ち時間の短縮

地域公共交通計画にバス幹線区間、バス準幹線区間として位置付けた「仙台駅前～八木山動物公園駅」を運行する2事業者8系統についてダイヤを調整し、最大待ち時間の短縮を図るとともにパターン化された利用しやすいダイヤとする。

### ②仙台都心循環線の新設

都心回遊の促進及び旅行者等が移動しやすい環境整備のため、仙台駅を起点とし、愛宕上杉通及び定禅寺通、晩翠通、青葉通を周回する都心循環線を新設する。

## 事業の効果

### ①最大待ち時間の短縮

【短縮時間】上り22分→17分（5分短縮）、下り20分→14分（6分短縮）

### ②市民や来訪者の利便性向上による都心回遊の促進

③仙台都心循環線と重複する路線の利用者が、仙台都心循環線へ転換することによる将来的な運行効率化

・作成自治体：宮城県仙台市 ・事業実施区域：仙台市全域

・事業実施予定期間：令和5年度～令和8年度

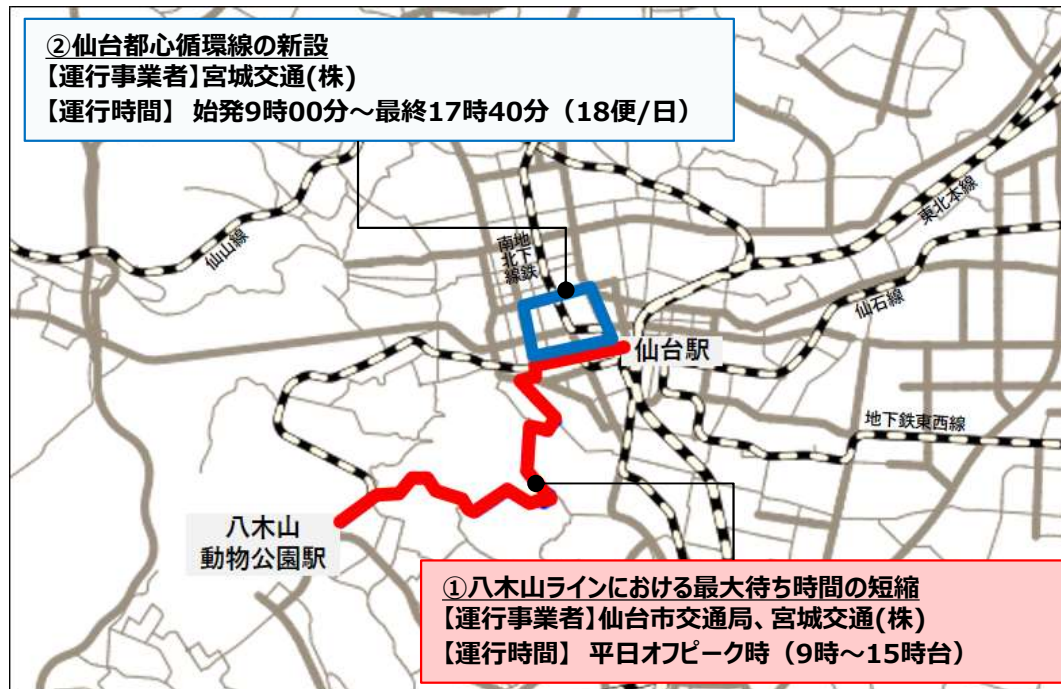
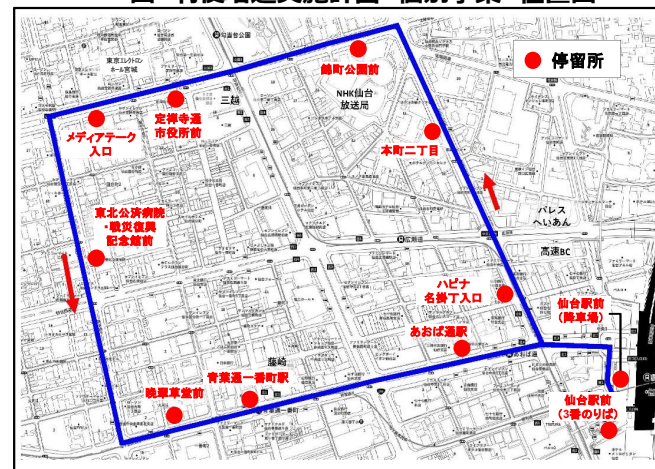


図 利便増進実施計画 個別事業 位置図



図【仙台都心循環線】運行経路